

## 精密光合成測定装置

東京大学 大学院理学系研究科  
生物科学専攻 植物生態学研究室

### 主旨

この文章は、以下の光合成解析システムを用いて、効率的に研究支援を行うための手引きです。

**蛍光解析装置 (WALZ 社製・PAM2500)**

**ガス交換解析装置 (WALZ 社製・GFS3000)**

### 利用する上での注意点

1. 管理者は、原則として機器の管理と予約、基本的な使い方の説明を行う。
2. 実際の測定、及び、測定データの解析は、基本的に使用者自身が行う。従って、本装置を用いた測定に習熟していることが望まれる。
3. 本装置の使用に不慣れな場合には、使用前に装置の使用方法や測定サンプルの準備について管理者に相談すること。
4. 利用が長時間になる場合（数日以上）のサンプルの管理方法については、事前に管理者と要相談のこと。
5. 病虫害等を持ち込まないようにすること。

### 利用の流れ

- ① 研究利用の事前連絡（貴研究室→当チーム）：目的、サンプル、サンプル数
- ② 事前打ち合わせ：機器の使用方法、実験内容、測定スケジュール、サンプルの管理等の必要情報
- ③ 利用申請書提出（貴研究室→事務局）
- ④ 採択の連絡（事務局→貴研究室）
- ⑤ 支援開始、管理者に電子メールで装置の使用予約
- ⑥ 分析サンプルの持込、測定
- ⑦ データ解析、データ持ち帰り

### 参考論文

本機に付属するマニュアル、解析ソフトは WALZ 社の HP からダウンロードできる。

URL: <http://www.walz.com/>

### 費用負担

測定に伴う薬剤（シリカゲル、加湿剤、ソーダライム）の購入をお願いします。使用頻度に応じて、後日、請求される。故障修理や点検に伴う費用は、後日、使用内容に応じて請求される。

### **Authorship**

原則として依頼分析は行わない。測定法に習熟してない等、測定に補助が必要な場合には、事前の協議により、共同研究として受け付ける。

なお、本プログラムを利用して生じた研究結果等を論文発表する際は、**Acknowledgements** 等に以下の内容の文章の記載をお願い致します。

「This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network」

また、その論文の別刷りあるいはコピーを、論文掲載後速やかに管理者および下記連絡先に送付してください。

### **連絡先**

機器の管理・使用予約に関して

itera@biol.s.u-tokyo.ac.jp、寺島 一郎

技術的な問い合わせ

konom07@biol.s.u-tokyo.ac.jp、河野 優